学校番号	3032B

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。クラスメイトの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、障害を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	人生をつくる	○人生を展望する ○目標を持って生きる ○人生をつくる ○家族・家庭を見つめる ○これからの家庭生活と社会	a:・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。・生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 b:・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活における問題や、家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することに問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	テスト レポート	ワークシート レポート	授業観察 ワークシート
	食生活をつくる	○食生活の管理と健康 ○食事と栄養・食品 ・何をどれだけ食べたらいいのか？ ○食生活の安全と衛生 ○日本の食問題 ○調理の基礎 ＊調理実習1回(7月)	a: 栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	テスト レポート	ワークシート レポート	授業観察 ワークシート

後期	衣生活をつくる	○被服の機能と着装 ○被服の管理と計画 ○これからの衣生活 ○被服実習	a: 生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b: 被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	テスト レポート	ワークシート レポート	授業観察 ワークシート
	経済生活を営む	○賢い消費者になる ・消費行動と意思決定 ・消費者の権利と責任 ・ライフスタイルと家計管理や経済計画の重要性 ＊マネープランのシミュレーション ○成熟した社会とは（共生経済について考える） ・持続可能な社会をめざしたライフスタイル ○生涯を見通す	a: 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。・現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。 b: ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c: ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画や消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	テスト レポート	ワークシート レポート	授業観察 ワークシート
	子どもと共に育つ	○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ・子どもの発達と保育 ・子どもの生活と保育 ○これからの保育環境	a: ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。・子供を取り巻く社会環境について理解している。 ・子育て支援について理解している。 b: ・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c: ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	テスト レポート	ワークシート レポート	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度